

デイヴィッド・サーレ

David Salle

1952- アメリカ

アーティスト。アメリカのニュー・ペインティングを代表する。1970年に<カル・アーツ>第一期生となり、ジョン・バルデッサリに師事。人体と、それとはまったく無関係なイメージを併せて描き不条理な感情を喚起する作品で知られる。

1952 - United States of America

Artist. He represents American New Painting. He was one of the students of the inaugural class of "CalArts" (California Institute of the Arts) and studied with John Baldessari. He is known for his works that evoke absurdity by drawing together human body and images unrelated to them.

デイヴィッド・サーレ

アステカ道徳者へのテーマ

1983年

リトグラフ



David Salle

Theme for an Aztec Moralist

1983

Lithograph

「私の近作のいくつかにあらわれるたっぷりしたパッセージ*——そうした絵具の特殊な使い方に対するインスピレーションは、オークション・カタログで見たリオペルの作品の複製から得たものだ。見たときにはおもしろいと思ったけれど、しばらく忘れていた。そのあと、ぼんやりしたその記憶を頼りに、絵具をぐいぐい押しつけて、私はそれを思い出そうとした。しかしそれは重要なことではない。重要なのは、それがリオペルの記憶から出てきたという事実ではなく、結果である。こうしたパッセージが表現主義的かどうかについていえば——私は誰かの作品を批評的ガイガー計数器にかけて、その表現主義度を測

るなどという傾向をまったく理解できない。ノル
デであれ誰であれ、そんなことは的はずれのよ
うに思われる。」

デイヴィッド・サーレ

*パサーージュ・セザンヌに由来する手法で、平面と平面によってモ
ティーフを表現し、さらにその輪郭線の一部を省くことで表面と奥
行きを緊密に統合させる。